

## 改版履歴

版数	日付	Author	内容
R1.0	2009/05/20	株式会社 アルテシード	新規作成。
R1.11	2009/07/05	株式会社 アルテシード	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレフィックス名のサポート。</li> <li>・サマリーリストの出力。</li> <li>・カタログからエラーが返された時、SYSUDUMP が定義されていれば診断用ダンプを出力するため ABEND する。</li> <li>・世代管理データセット対応。</li> </ul>

## READCAT – カタログリストアップ・プログラム

### プログラム概説

READCAT は、カタログのリスティング・プログラムです。カタログの移行、JOBCAT 廃止のための調査用ツールとして AMS の LISTCAT VOLUME の代わりに利用できます。

指定したカタログに登録されているデータセットごとに、名前、ボリューム名、装置タイプを 1 行に編集して出力します。必要とされる情報がコンパクトにまとまっており、見やすいリストになっています。また出力リストは CSV 形式になっているので、PC にダウンロードすれば Excel で自在に加工できます。

### 提供されるファイル

ファイル名	用途、内容
READCAT.pdf	プログラム・マニュアル
READCAT.obj	オブジェクトモジュール
READCAT-BIND.txt	リンクエディット用 JCL
READCAT-RUN.txt	READCAT 実行用 JCL
READCAT.txt	ソースプログラム(アセンブラ)
READCAT-ASM.txt	アセンブル用 JCL

## インストール手順

- ① READCAT.obj ファイルを、MVS 内の任意の区分データセットのメンバー「READCAT」として、バイナリーモードでアップロードします。このファイルは READCAT プログラムのオブジェクトモジュールです。アップロード先のデータセットは RECFM=F または FB、LRECL=80 でなければなりません。
- ② READCAT-BIND.txt ファイルをサンプルにして、①でアップロードしたオブジェクトモジュールをロードモジュールに変換します。特別な理由がない限り、ロードモジュールのメンバー名は「READCAT」としてください。既存のロードモジュール・ライブラリーまたは新規のロードモジュール・ライブラリーいずれでもかまいません。READCAT を格納するのに必要なスペースは 1トラックあれば十分ですが、新規に READCAT の格納用データセットを作成する場合は、再リンケージすることも考慮して余裕あるスペース量を持たせる方がいいでしょう。なお、READCAT プログラムには APF 許可は不要です。

ロードモジュールが作成できたら、インストール作業は終わりです。

## プログラムの実行

## 実行用 JCL

```

-----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7--
//READCAT EXEC PGM=READCAT, PARM=' catalogname, prefix'
//STEPLIB DD DISP=SHR, DSN=... load module library...
//SYSPRINT DD SYSOUT=*
//SYSLIST DD SYSOUT=*

```

## ジョブ制御文(EXEC 文)

使用目的	指定するプログラム名	PARM パラメータの記述形式
READCAT を実行する	READCAT	PARM=' catalogname, prefix'

## ジョブ制御文(DD 文)

DD 名	装置	編成	RECFM	BLKSIZE	LRECL	データセットの内容・使用目的
STEPLIB	DASD	PO	U	4096	0	ロードモジュール・ライブラリー。
SYSPRINT	SPOOL DASD	PS	FB	0	132	実行結果サマリーの出力データセット。 (通常は SYSOUT データセットを割り当てる)
SYSLIST	SPOOL DASD	PS	FB	0	132	実行結果の出力データセット。 (通常は SYSOUT データセットを割り当てる)

## PARM パラメーターの指定方法

パラメーター	パラメーターの意味・機能
catalogname	<p>値: カatalog名 省略値: なし(マスターカatalog)</p> <p>リストアップするカatalogの名前を指定します。</p>
prefix	<p>値: プレフィックス名 省略値: なし(すべてのカatalogエントリー)</p> <p>カatalogされたエントリーの中から、リストアップしたいエントリー(データセット名、クラスター名、カatalog名など)の接頭名を指定します。このパラメーターを指定すれば、リストアップするデータセットなどを絞り込むことができます。</p> <p>例えば、SYS1 と指定すれば、SYS1 で始まる名前を持つ、エントリーのみがリストアップされます。</p> <p>カatalogから読み込まれた登録エントリーは、接頭名と一致しているかどうか、このパラメーターで指定された長さ分だけが単純に比較され、一致したエントリーのみが出力されます。A と指定すれば、A.、ABC.、のいずれも出力の対象となります。USER と指定すれば、USER.、USER10.、のいずれも出力の対象となります。DFDSS 等における総称文字指定 USER.**と同様の絞り込みをする場合は、「USER.」とピリオドまで含めて指定します。</p>

## 出力リスト

```

-----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8--
A-NVSM , MY. SOURCE                                , ARTVOL (3010200F)
①          ②                                         ③

```

## ① エントリータイプ

A-NVSM 非 VSAM データセット  
B-GDG 世代管理データグループ  
H-NVSM 世代管理データセット(非 VSAM データセット)  
C-CLST VSAM クラスター  
I-INDX VSAM インデックス  
D-DATA VSAM データ  
G-AIX VSAM 代替インデックス  
R-PATH VSAM 代替パス  
U-CTLG ユーザーカatalog  
X-ALIS 別名(ALIAS)

## ② エントリー名(データセット名)

## ③ ボリューム名と装置タイプコード

最大 4 ボリュームまで表示されます。ボリューム名の右横の括弧内が、カタログされている装置タイプコードです。

## 完了コードとメッセージ

## 完了コード

完了コード	コードの意味
0	正常終了。
4	指定したカタログは存在しません。
上記以外	OS のカタログサービス・エラー。

※SYSUDUMP DD 文が定義されていると、同じコードで ABEND します。(ダンプ採取のため)

## メッセージ

READCAT - PROCESSING ABORT BY CTLG SVC ERROR, CODE=code
<p>メッセージの意味:</p> <p>OS のカタログサービス(SVC26)からエラーが返されました。</p> <p>code: エラーコード</p> <p>04: 指定されたカタログは存在しない</p> <p>プログラムの動作:</p> <p>処理を中止して、返されたエラーコードを完了コードにして終了する。</p> <p>対処:</p> <p>コード 4 の場合は、正しいカタログ名を指定してください。その他のコードの場合は、REGION サイズを増やして再実行を試みてください。</p>

注意事項
------

- マルチボリューム・データセットの場合、4 ボリュームまでを持つデータセットしかサポートされません。5 ボリューム以上を持つデータセットの場合、先頭の 4 ボリュームまでがリスト表示されます。
- OS の AMS ユーティリティと、件数が一致しないものがあります。
  - ① VVDS データセットの DATA 部エントリーは読み込まれないため、VSAM DATA の件数は、その分少なくなります。
  - ② PAGE データセットのクラスターは VSAM クラスターとして読み込まれるため、AMS では PAGESPACE としてカウントされている分が、READCAT では VSAM CLUSTER として計上されます。
  - ③ 読み込み元カタログのクラスターエントリーを示すレコードは読み込めないため、その 1 件分 READCAT での VSAM CLUSTER 件数は少なくなります。
  - ④ AMS ではオフラインボリュームの VSAM エントリーについては、INDEX と DATA 部はカウントされないが、READCAT では VSAM INDEX、DATA としてそれぞれ計上されます。